



稲川勝憲議員

施設整備

山中武道場建設場所は 校舎北側駐車場を予定

質問 地域木材を活用した公共木造施設として「山田中学校武道場」を森林整備加速化・林業再生基金事業により整備し、木造住宅の持つ「ぬくもり」や「暖かみ」を実感してもらうことで、施設利用者に木造の良さを広くPRし、木造住宅の建築による地域材の需用拡大の効果が図られるよう進めるとのことであるが、武道場の建設面積、建設場所を示せ。

また、実施計画は進んでいるか。

沼崎町長 山田中学校武道場の建設は、農林水産省所管の森林整備加速化・林業

再生基金事業の木造公共施設等整備事業で実施するものである。この事業は、平成22年度事業であり、具体的な設計は新年度に入ってからになる。

検討段階では、建設面積450平方メートル、建設場所は校舎北側の職員駐車場を予定している。実施設計は、補助金交付決定後の5月に発注したいと考えている。

質問 建設内容などを検討する学校建設委員会のような組織はあるか。また、平屋建てか、2階建てか。

菊地教育次長 組織は設けていない。建物は平屋建てである。

行政改革

織笠保育園民営化の方向性

いくつかの要因解消、再募集する

質問 織笠保育園の民営化について法人から申し込みはなかったとの報告があった。担当課で法人を訪問したところ「園舎の裏側の

けが危険、通園路の急勾配、園児数の減少」などの理由

町の考えを聞く



民営化に向けて再度募集する織笠保育園

また、船越保育園の民営化計画はどのようにすすめるのか。

沼崎町長 園舎周辺の急傾斜地が平成22年度の岩手県事業で整備されること、23年度4月に予定している轟木児童館の健全育成型への移行によって、織笠保育園の園児数に若干の増が期待されることなど、いくつかの要因が解消される見込みであり、再度募集する。

船越保育園の民営化については、23年度からの新たな行政改革大綱の中で検討したい。

から引き受け法人がなかったようだ。

今後、指摘された事項を改善し、改めて民営化を推進しようとするのか。町の直営で運営するのか具体的な方向性を示せ。